

みやざき市議会 だより

年4回発行

発行/宮崎市議会 編集/広報広聴委員会

12月

3月

定例会は年4回

9月

6月

今回は9月に開催しました



10月に行われた「神武さま」の御神幸行列で
元気な姿をみせる子どもたち

目次

- ・市政のここが聞きたい! 一般質問 2
- ・常任委員会の審査報告 8
- ・提出議案の議決結果一覧 9
- ・令和3年度の決算を審査 10
- ・市議会からのお知らせ/編集後記 12



開かれた市議会へ!

QRコードをスマートフォンで
読み取って活用してください。



宮崎市議会
ホームページ



宮崎市議会
議会中継
ホームページ



宮崎市議会
Facebook
ページ

一般質問



登壇順(質問順)に掲載しています。内容は要約であり、公式記録ではありません。
一般質問の映像を公開していますので、
詳しい内容は右のQRコードをスマートフォンで読み取ってご確認ください。

宮崎市議会
議会中継
Webサイト



一般質問は、
市政全般の問題について
市の方針を問うものです。



市政の
ここが聞きたい!

一般質問



令和4年第6回(9月)定例会では、
9月12日～15日までの4日間にわたり、
19人の議員が質問に立ちました。
そのなかから主なものを、
登壇順にご紹介します。

令和4年 第6回(9月)宮崎市議会定例会 一般質問一覧

表内左より、登壇順・質問者(一般質問時の会派)・質問内容を掲載しています

9月12日(月)		9月13日(火)		
1	黒川 正信 (立憲・国民・社民の会)	(仮称)処理場工区、高洲14号線、公共のバス路線について	6 谷口 真理子 (公明党)	自然休養村センター、木花公民館の建替え、市営住宅、不登校対策、学齢期における発達障がい相談と支援、命名書等について
2	嶋田 喜代子 (令政会)	子ども5R学習事業、日中一時支援、放課後等デイサービス、障がい者手帳、おくやみコーナー、児童相談所、ヤングケアラー等について	7 森 太 (同志会)	宮崎西インターチェンジ周辺の発展、観光、行政の管理、農業、消防行政、環境について
3	一ノ瀬 良尚 (はまゆう)	公共工事に伴うインフラスライド及び特例措置、公共工事に伴う工事看板設置について	8 時任 砂織 (令政会)	子宮頸がんワクチン、学校給食、葬祭センター、市営住宅、コミュニティ交通について
4	伊地知 義友 (同志会)	公共施設の保全、職員の育成、災害警戒区域、自治会の拠点、農業政策、公共交通デマンド運行、少子化対策、教育現場について	9 前田 広之 (前新会)	福祉行政、ヤングケアラー、教育行政、消防行政、道路行政について
5	外山 順一 (たまゆら会)	経済対策、スポーツとまちづくり、環境問題、自治会回覧について	10 徳重 淳一 (立憲・国民・社民の会)	児童相談所と宮崎市総合発達支援センター、中学校部活動の地域移行、公共施設、ホテル・旅館等魅力アップ支援事業について
9月14日(水)		9月15日(木)		
11	吉田 正樹 (公明党)	ワクチン予防接種助成、夜間中学、市立小中学校の老朽化、就職氷河期世代の雇用拡大について	16 富永 千香 (前新会)	不登校児童生徒への支援、ひとり親家庭への支援について
12	外山 良則 (前新会)	教育問題、高岡温泉やすらぎの郷、使用済み小型家電回収、農業後継者不足について	17 中川 義行 (立憲・国民・社民の会)	市役所の働く環境、下水処理場の汚泥処理、平和が丘団地の建替え、生目の杜・久峰テニスコート周辺整備、中学校部活動について
13	島田 健一 (公明党)	災害に備える対策、熱中症対策、ひきこもり支援の取組について	18 日高 昭彦 (市政同志会)	宮崎市のコロナ禍における観光事業、青島地区の現状と今後(移住対策、まちづくり、防災対策)、宮崎産材について
14	伊地知 孝美 (政友会)	農林水産業燃油等高騰緊急対策、土砂災害防止、物流工業団地の整備、脱炭素・リサイクル社会、田野地域の道路整備等について	19 山口 俊樹 (前新会)	防災、リスクへの対応のあり方、公共施設、環境政策、諸問題(小中学校での性に関する課題、慶弔等対応、公文書)について
15	前本 尚登 (前新会)	本庁舎の建替え、子ども・子育て支援プランの課題について		

※9月定例会では、全議員マスク着用を
必須といたしました。

6月定例会号(7月発行)P5の松山泰之議員の問(たばこ税の使途)中に「たばこ税収72億円」とあるのは、
正しくは「たばこ税収27億円」の誤りでした。訂正してお詫言いたします。



川原通線処理場工区



1 立憲国民社民の会
黒川 正信



問 都市計画道路「川原通線」の整備が完了していないことについて、市長はどのように考えているのか。

答 都市計画道路は、円滑な交通ネットワークの形成や、安全な歩行空間の確保、災害時における避難路等の機能を有する重要な都市施設と考えています。現在、国の補助制度を活用しながら高洲工区の整備に取り組んでいます。

高洲14号線

問 国費を活用して早急に整備できないのか。
答 現在事業中の道路事業の進捗状況や、今後の事業計画を検討する中で整理を行い、個々の手続きの課題を整理します。

公共のバス路線

問 路線バス(7番線)のバス回転場移転費用や借地料について市で負担することはできないのか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響による外出控え等から、さらに利用者の減少が進んでおり、路線バス事業者はこれまで以上に厳しい経営状況となっております。バス回転場移転費用や借地料金等に関する新たな負担については厳しい現状です。

障がい



2 令政会
嶋田 喜代子



問 ピアサポーターの活動について伺いたい。
答 さらに広がる取り組みを実施します。
問 日中一時支援事業所の現状把握や職員の聞き取りはしているのか。
答 現場に向く等、把握に努めます。

問 カード型障がい者手帳の導入の考えはないのか。
答 導入は引き続き研究していきます。
問 基幹相談支援センター増設の考えは。相談支援体制の充実を検討します。
問 環境
問 こども5R学習事業について市はどのように考えているのか。
答 今後も継続的に実施していきます。

問 おくやみコーナー
問 開設後10か月経過し改善点はあるか。
答 予約枠や窓口の拡大を図ります。

問 児童相談所設置
問 今後どのように進めていくのか。
答 設置は今年度中に判断します。

問 ヤングケアラー
問 実態把握調査後1年以上経過しているが、関わりはどうか。
答 状況把握に努め、福祉分野と連携して対応しています。

公共工事に伴うインフラスライド



3 はまゆう
一ノ瀬 良尚



問 公共工事の基本理念として、将来にわたる公共工事の品質確保と中長期的な担い手の育成、確保は非常に重要なことで、そのためには適正な工事請負代金による請負契約の締結や、公共工事に従事する人たちの賃金などの配慮が必要ではないか。
答 様々な産業において、人材の確保が課題となっておりますが、建設現場でも人手不足が顕著となっておりますことから、適切な賃金水準を確保することは大事であると考えています。原油価格等の高騰により、建設資材の価格も上昇していますので、事業者の採算性を確保し、最新の建設資材や労務単価等を積算に反映するなど円滑に対応することが重要になります。

問 「インフラスライド」「特例措置」の対象となった工事は何件あったのか。
答 「インフラスライド」の対象工事数8件、「特例措置」の対象工事数45件です。
問 対象工事で適用しなかった案件はどのような理由か。
答 工事担当課と受注業者で協議を行い、受注者から辞退する旨の申し出があったためです。

公共施設の保全



4 同志会
伊地知 義友



問 公共施設の修繕費等が膨らみ市財政を圧迫し、施設が傷み使えなくなったり事故につながる心配。事後保全から予防保全に切り替える必要があるのでは。
答 長寿命化対策事業として予防保全に取り組み始めましたが、事後保全工事も行っています。

問 高岡温泉は、壊れて数年使えず、収入も入らず、見直しも立っていない状況で、事後保全の典型である。計画的予防保全ができない今の一係体制で維持管理費縮減、長寿命化、延床削減等の取り組みは厳しい。工事・修繕履歴等も記載するなど見やすく進捗管理しやすい施設力ルテを作成し、財産台帳も一元管理していく必要があるがどのように考えているのか。
答 予防保全に努め、維持管理費縮減、延床面積削減に取り組んでいきます。

職員育成
問 永続的に発展させたい企業は人材育成に力を注ぐ。市も能力を開発し、市民の幸せのために力を尽くす職員の育成にもっと力を注ぐべきでは。
答 行政のプロとして市民の幸せのために実践できる職員育成の研修を充実させ、組織風土を醸成していきます。



5 たまゆら 会
外山 順一



問 ニシタチを含め繁華街は人の動きがみられない。今後の経済対策についてどのように考えているのか。

答 9月を小児と若年層のワクチン接種月間と設定し、市民における積極的な接種を推進します。社会経済活動への負担をできる限り抑えていくことも、我々行政の責務であると認識しています。「新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金」も有効に活用しながらスピード感をもって取り組んでいきます。

問 ウイズコロナの中で、これからの宮崎の誘客をどのように考えているのか。

答 本市の魅力的な観光資源をブランドコンセプトにした「宮崎食堂」の動画を制作し、ウェブ広告をしたところ、220万回超の視聴があったので、本市の魅力の認知拡大を図ることができました。

自治会回覧

問 自治会が回覧する文書の種類を市は認識しているか。

答 毎月2回送付し昨年度は年間303件発送しました。文書量は相当なものと認識しています。

問 回覧文書を減らす方策について検討する必要があるのではないか。

答 回覧文書の集約化を含めた自治会負担軽減の方策について、関係課と検討していきます。



6 公明党
谷口 真理子



問 当施設は高齢者の健康増進、介護予防等も担っており、補修費は森林水産課ほか、横断的に考えるべきではないか。

答 建設当初の目的と変わり、現在は市民の健康増進や地域振興を図ることを目的としています。高齢者ふれあい室も併設されていることから、補修費等についても部局横断的に柔軟に対応していきます。

木花公民館の建替え

問 現在は借地である公民館西側駐車場の買い上げや、土地の高上げを含む防災対策等の課題にどう対応するのか。

答 駐車場の購入は地域の意見を聞きながら関係部局と協議します。最大3mの浸水想定区域のため、適切な高上げを検討します。建物は屋上付きの2階建てとし、津波避難ビルの指定要件を備えた2時避難施設とするよう考えています。

不登校対策

問 令和2年度の不登校児童生徒は649名。タブレットを活用した学習や専門的知見の活用をどう進めるのか。

答 タブレット活用は不登校全体の55.2%で、自宅でのA・ドドリル・オンライン授業・課題送信等で活用しています。今後は大学と連携し、専門的な人材の知見を活用した支援策を協議していきます。



7 同志会
森 太



問 佐土原の堂ヶ迫池の遊歩道が、4年前から崩壊しているが、どのような対策を講じているのか。

答 平成30年9月の台風で遊歩道下の法面が被災し、ため池を管理する水利組合が遊歩道を封鎖しましたが、令和元年に法面の被災が増大したことから、ロープによる封鎖と危険を知らせる案内板を市が設置したところです。今年8月に、地元からロープと案内板が劣化しているとの報告を受け、新たに侵入を防ぐ柵の設置と、危険を知らせる案内板を作成したところです。

観光

問 観光客の滞在時間を延ばすために、新たな観光の魅力として、日本一のジップラインを設置する考えはないか。

答 昨今のウィズ・コロナ時代における、感染リスクの少ないアウトドア・レジャー志向の高まりの中、非常に有効であり、国内外の観光客の消費拡大や滞在時間の延長につながることを期待されます。今後、他の自治体の事例などを参考に、本市の豊かな自然資源を生かした、新たな観光コンテンツづくりについて研究していきたいと考えています。



8 令政会
時任 砂織



問 接種の重要性について伺いたい。

答 カナダ・イギリスなどでは約8割が接種し子宮頸がんは激減しています。接種は極めて重要であり、接種率向上につなげます。

火葬センター

問 火葬までに日数がかかる原因と対応について伺いたい。

答 8月の死亡が昨年より多く、一般とコロナ感染症による火葬を分けているためですが、バランスを考慮し実施します。

市営住宅

問 小牧台の政策空家は今後どうなるか。

答 簡易耐火構造平屋建ての入居者の皆様にアンケートを実施し、他の市営住宅へ移転できないか検討しているところです。

コミュニティ交通

問 乗合タクシーは仕組みがわかりにくい。予約が面倒なのでタクシー補助券の支援制度はできないか。

答 多額の費用が必要であり、コミュニティ交通の基本的な考え方と異なるため、地域内の公共交通の観点では検討していません。



9 前新会
前田 広之



福祉行政

問 市長は認知症サポーター養成講座を受けられたのか。

答 受講はしていませんが、医師の立場として宮崎県の「みやざきオレシジドクター」に登録しています。

ヤングケアラー

問 ヤングケアラーを支援するために、教師、自治体、民間団体、住民などが一体となって早期発見に努めることが大切だと思うが、どのように考えているか。

答 気づくことが第一歩であり「見る・見守る」との思いで「宮崎市ヤングケアラー相談電話(愛称カモミル)」を設置しました。

教育行政

問 中学校の部活動の地域移行について、現在の取り組み状況はどのようになっているのか伺いたい。

答 「宮崎市部活動地域移行準備委員会」の11月発足に向けて準備を進めているところです。

道路行政

問 市長は市道吉村通線4工区以南の計画についてどのように考えているのか。

答 周辺環境の変化及び整備効果を検証した上で、検討していきたいと考えています。



10 立憲国民社民の会
徳重 淳一



児童相談所

問 本市での児童相談所の設置については、今後どう進めるつもりか。

答 現在、県と協議を行い、児相設置の市や、児童虐待対応に新たな取り組みを始めた市について調査を行っています。また、児相設置に必要な専門資格を有する人材の確保や育成、施設整備費や運営費等の課題について整理・検討を行い、今年度中に設置の判断をしたいと考えています。

中学校部活動の地域移行

問 来年度から3年間を改革集中期間に設定し、体制整備を進めるとしているが、どのような対応をする考えか。

答 スポーツ庁の部活動地域移行に関する概算要求が出されたばかりです。今後、国や県の動向を注視し、体制整備についても宮崎市部活動地域移行準備委員会を活用し、検討していくことになると考えています。

公共施設

問 市内の公共施設利用料に差があるが、料金改定の時期は。

答 新料金の適用は、各施設の条例改正手続きを進めるとともに、市民への周知期間を確保する必要があることから、令和6年度以降を見込んでいます。



11 公明党
吉田 正樹



骨髄移植等後の再接種助成拡大

問 任意接種に拡大できた理由は何か。

答 流行性耳下腺炎、3種混合ワクチンへの拡大には財政的な課題がありました。経済的負担の軽減、何より疾病の発症及び重症化の防止を一番に考え実現しました。

带状疱疹

問 接種費用の助成はできないか。

答 九州、四国の自治体で調査を行いました。助成実績はありませんでした。国の定期接種化に向けた議論の状況と、他自治体の動向を注視していきたいと考えています。

令和6年度の夜間中学校開校

問 日本語指導員を配置するのか。

答 全国の夜間中学に通う生徒の8割が「日本国籍を有しない者」となっており、本市においても日本語指導員等の配置が必要になると考えます。

バスケットボールボードの落下

問 安全点検は行ったのか。

答 令和3年4月に北九州市で発生した事故を受け、宮崎市でも小学校31校、中学校18校の計49校で不具合が判明し、随時改修を行いました。



12 前新会
外山 良則



高岡温泉やすらぎの郷

問 劣化度調査を実施した理由と休館になった経緯は何か。

答 給湯設備などで漏水が相次ぎ、部分的な補修では対応できない状況が出てきたことから、施設全体の専門的な調査が必要と判断し、昨年12月から今年4月にかけて実施しました。

劣化度調査の結果はどうだったか。

答 板張りの外の壁や排煙窓、空調機器、混合槽など、劣化が多岐にわたっています。令和4年4月の時点で4億2千7百万円の改修費用が掛かるという結果が出ています。

施設の再開はどのようになるのか。

答 9月下旬から、地域住民や地域団体などの意見を聴取するなど、民間活力の可能性を探るためのサウンディング型市場調査を実施した上で、施設運営の方向性を出します。

今後の検討スケジュールは。

答 サウンディング型市場調査を、9月26日に公表し、11月22日まで「個別対話」を計画しています。期間中は、現地見学会や説明会等を実施し、事業者の希望に合わせ適宜対応します。この調査を基に、施設のあり方について、多面的な分析・検討を行い、今後の事業展開について、本年度末までに判断できればと考えています。

一般質問



登壇順(質問順)に掲載しています。内容は要約であり、公式記録ではありません。
一般質問の映像を公開していますので、詳しい内容は右のQRコードをスマートフォンで読み取ってご確認ください。



13 公明党
島田 健一



地域と学校が一体で備える防災教育

問 児童生徒が自分の命を守り、考えて行動する力を培うため、学校と地域と防災の専門家が一体となって、コミュニケーション・スクール等を活用して、防災教育・避難訓練を行う考えはないか。

答 様々な自然災害に備えることが必要です。児童生徒にとって、災害は学校以外でも起こりうることから、地域と連携した訓練を行うことは重要であると考えています。教育委員会として、地域と連携した好事例の防災教育や避難訓練等の周知を図ります。

ひきこもり支援の取り組み

問 当事者を支える家族の存在は大きいと考える。家族への支援についてはどのように考えているか。

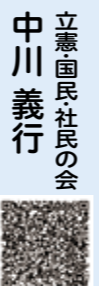
答 一家族に寄り添った支援体制の充実を図るため、家族の会の定例会や同会が主催する会合へ参加し、情報収集に努めます。

問 今後の支援体制及び外部の関係機関との連携体制の構築について、どのように考えているか。

答 宮崎市自立相談支援センター「これから」の体制の強化や、外部の関係機関等が参画した会議体の設置など、さらに充実したひきこもり支援体制の構築に向けて、検討を進めます。



17 立憲国民社民の会
中川 義行



市役所の働く環境

問 全庁的な人員不足にコロナ禍への対応が増え、人員増が必要。青島出張所は要員不足の乗り換え運用を解消すべきでは。業務量を反映した職員配置に努めます。

公共下水処理場の汚泥処理

問 田野浄化センター建設時の、地域との協定書の重みの認識について伺いたい。

答 信頼関係の礎であり尊重しています。新たな汚泥処理施設建設場所は田野町域に限らず幅広く検討します。

市住・平和が丘団地建替え

問 老朽化で転居希望者もいる。近隣市住への転居をあっせんすべきではないか。入居者の意向を確認します。

生目の杜・久峰テニスコート周辺整備

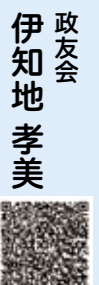
問 雨天と熱中症対策のための屋根設置や、災害時避難場所である久峰総合公園管理棟のトイレ洋式化・便器増設はできないか。

答 多額の費用が見込まれ、難しい状況です。
中学校部活動の地域移行
問 機会均等であるべき教育に、居住地による差が出てくるのではないか。

答 部活指導による長時間勤務も問題となっており、地域によって差が出ないよう検討します。



14 政友会
伊知地 孝美



農林水産業燃油等高騰緊急対策

問 持続可能な農林水産業の推進は。その時々々の社会情勢の変化に伴う新たな行政課題にも、国や県、関係機関と連携し臨機応変に対応していきます。

土砂災害防止

問 本市の盛土箇所の点検結果は。許可・届出のあった83か所の盛土の点検を目標等で行った結果、すべて異常はありませんでした。

物流工業団地の整備

問 物流工業団地を整備する考えは。必要性について研究していきます。

脱炭素・リサイクル社会

問 太陽光パネルの無害化処理について、産官学連携で取り組みはないか。本市ができる支援を研究します。

田野地域の道路整備等

問 都市計画道路廃止要検討の今後は。明神原通線未着手区間のまちづくりは、地域と適切に対応していきます。

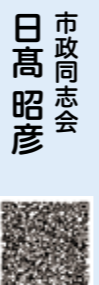
黒草橋付近道路の拡幅改良は。

問 黒草橋付近道路の拡幅改良は。蓋掛けを行う改良で検討します。

問 県道桜町工区の改良計画は。県が、設計に基づく自治会説明会を12月頃に開催する予定となっています。



18 市政同志会
日高 昭彦



宮崎市の観光事業

問 観光関係者に対する支援策はないか。現在の社会情勢を見ながら適切な支援策を検討していきます。

青島地区の現状と課題

問 移住に関する本市及び青島地区の現状は。直近の3年間で移住者が565名で青島地区も徐々に増えてきています。

問 青島地区のまちづくりについて現在進んでいる開発をどう思うか。現在の「地域魅力発信プラン」を見直し、再度協議していきます。

問 青島地区の防災に関して、昨年の大雨による被害の復旧状況及び、今後の対策は。被災した道路やライフライン等を早期復旧できるよう、関係機関に対して働きかけていきます。

宮崎市産材

問 宮崎市産材の活用を推進していくべきではないか。森林環境譲与税を活用し、公共施設の木質化等の木材利用につながる施策を推進していきます。



15 前新会
前本 尚登



本庁舎の建替え

問 建替える庁舎の規模は、どのような算定となっているのか。2030年度の想定職員数に最近新庁舎を建設した県内外の7市の職員一人当たり面積の平均23・84㎡をかけて算出しています。

問 庁舎の建替え場所を検討する際、今後の職員定数、財政計画を含め、市役所の将来像を示し、その整合をもって判断することは考えていないのか。

答 新庁舎は約80年以上、市政運営の中核を担う施設として活用することになるので、社会情勢の変化に柔軟に対応できる庁舎となるよう検討していきます。

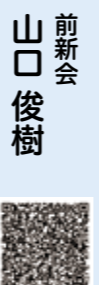
子ども・子育て支援プランの課題

問 児童虐待等を解決する策として、子育ては重要である。子育て世代になる前においても親育ての考えは必要と考えているが、今後の展開は考えているのか。

答 若い世代から、妊娠、家庭・家族の役割に関する知識を身に付け、子どもへの愛着や生み育てる喜び、楽しさを与える機会に触れることが、将来の子育て世代に対する親育ちにも寄与すると考えています。今後は、令和6年改訂の子ども子育て支援プランに、若い世代への施策を盛り込み、ライフステージに応じた施策の充実に向けていきます。



19 前新会
山口 俊樹



防災(災害)への対応

問 災害ごみの対応を定めた宮崎市災害廃棄物処理計画で災害廃棄物処理に必要なと想定される用地(約170畝)は現時点で確保できていないようだが、今後の対応は。計画のブラッシュアップを図ることに併せ、国や県、民間事業者等との連携を図りながら、仮置き場の確保に努めていきたいと考えています。

市場の建替え検討

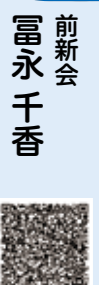
問 市場は耐用年数を60年として今年で築45年となるが、そろそろ財政面を含め建替えの検討を始めていく時期ではないか。昨年度から関係者でのワーキンググループを立ち上げています。多額の予算が想定されるので、財源確保や財政負担の平準化についても関係部署との協議を進めていきたいと考えています。

トイレへの生理用品設置

問 昨年も質問したが、小中学校トイレでの生理用品の設置について検討状況と今後の方針は。現在2校で検証を行っています。各学校の意向に配慮しながら、来年度には全小中学校で生理用品のトイレ設置に向けて取り組んでいきたいと考えています。



16 前新会
富永 千香



不登校児童生徒への支援

問 不登校問題の早期解決と未然防止に向けて必要な専門知識を有するスクールカウンセラーの増員はできないか。

答 国や県に増員を要望します。

問 6か所ある教育支援教室の空き教室などを活用し、HSCの子どもたち専用の学びの場所に提供できないか。

答 児童生徒や保護者との面談を通して適切に対応を検討していきます。

問 フリースクール等の民間施設での出席扱いの実績や連携は図れているのか。

答 要件やガイドラインをまとめたので周知する際に面談を行い、連携・協力し相互に補完していきます。

ひとり親家庭への支援

問 母子父子寡婦福祉資金貸付事業の利用が無い原因を検証し、内容の見直しや対象者への周知啓発が必要ではないか。

答 検証も含め見直しを行い、制度や事業の周知の強化に取り組んでいきます。

問 支援に関する制度拡充や要件緩和などの変更点や有益な情報が対象者に届くようホームページを作り替えられないか。

答 指摘の通り各制度や事業の項目を選択すれば詳細のページに移動するようリンクさせたり、目立つ表示に変えたりして利用者にとって有益な情報を提供できるよう改善していきます。



議会でタブレット端末を試験導入

9月定例会からタブレット端末を試験導入しました。議員審査の充実や膨大な紙資料のペーパーレス化、議会運営の効率化、災害時の対応強化を目的としています。しばらくは紙の資料も併用しますが、来年3月定例会から本格運用を予定しています。

豆知識

提出議案の 議決結果一覧



9月定例会、10月臨時会では、一般会計補正予算をはじめ34議案が原案可決、認定等となり、議員提出議案1件が否決となりました。また、諮問5件は異議なしとされました。

種類	番号	件名	結果
議員提出議案	5	安倍元首相の国葬の停止を求める意見書案	否決※
	6	「女性デジタル人材育成プラン」を強力に推進するための支援を求める意見書案	原案可決
	7	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書案	原案可決※
市長提出議案	83	令和3年度宮崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	84	令和3年度宮崎市公営住宅建設資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	85	令和3年度宮崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	86	令和3年度宮崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	87	令和3年度宮崎市公園墓地特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	88	令和3年度宮崎市卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	89	令和3年度宮崎市母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	90	令和3年度宮崎市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	91	令和3年度宮崎市公設合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	92	令和3年度宮崎市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	93	令和3年度宮崎市公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	94	令和3年度宮崎市水道事業会計剰余金の処分及び令和3年度宮崎市水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
	95	令和3年度宮崎市工業用水道事業会計剰余金の処分及び令和3年度宮崎市工業用水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
	96	令和3年度宮崎市公共下水道事業会計決算の認定について	認定
	97	令和3年度宮崎市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び令和3年度宮崎市農業集落排水事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
	98	令和3年度宮崎市田野病院事業会計決算の認定について	認定
	99	令和4年度宮崎市一般会計補正予算(第8号)案	原案可決
100	令和4年度宮崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	

種類	番号	件名	結果
市長提出議案	101	工事請負契約の締結について	原案可決
	102	工事請負契約の締結について	原案可決
	103	工事請負契約の締結について	原案可決
	104	宮崎市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	原案可決
	105	宮崎市議会議員及び宮崎市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について	原案可決
	106	宮崎市学習等供用施設条例の一部改正について	原案可決
	107	宮崎市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
	108	宮崎市職員の定年等に関する条例等の一部改正について	原案可決
	109	宮崎市手数料条例の一部改正について	原案可決
	110	宮崎市災害危険区域に関する条例の一部改正について	原案可決
	111	令和4年度宮崎市一般会計補正予算(第9号)案	原案可決
	112	宮崎市教育委員会委員の任命について	同意
	113	宮崎市監査委員の選任について	同意
	114	「令和4年度宮崎市一般会計補正予算(第10号)」の専決処分について	承認
諮問	11	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
	12	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
	13	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
	14	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
	15	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
報告	29	令和3年度宮崎市内部統制評価報告書	終了
	30	令和3年度宮崎市一般会計継続費精算報告書	終了
	31	令和3年度宮崎市水道事業会計継続費精算報告書	終了
	32	令和3年度宮崎市公共下水道事業会計継続費精算報告書	終了
	33	令和3年度宮崎市健全化判断比率について	終了
	34	令和3年度宮崎市資金不足比率について	終了
	35	公立大学法人宮崎公立大学の経営状況について	終了
	36	公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について	終了
	37	公益財団法人宮崎市スポーツ協会の経営状況について	終了
	38	宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社の経営状況について	終了
39	公立大学法人宮崎公立大学の令和3年度業務実績に関する評価結果について	終了	
40	専決処分の報告について	終了	
41	専決処分の報告について	終了	
42	専決処分の報告について	終了	

表決が分かれた議案の 会派別賛否一覧

「○」は賛成、「●」は反対

上記結果に※印がついたものは、賛成・反対がどちらもあった議案です。
※鈴木一成議長(前新会)は、表決に加わりません。

令和4年9月定例会												
議案番号	会派(人数)	前新会(7)	公明党(6)	立憲・国民の会(6)	同志会(4)	令政会(4)	政友会(3)	市政同志会(3)	はまゆう(3)	日本共産党(1)	たまゆら会(1)	創政会(1)
議員提出議案	第5号	●	●	○	●	●	●	●	●	欠	○	●
	第7号	○	○	○	●	○	●	●	●	欠	○	○

建設企業委員会



3件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

シェアサイクル普及促進事業

サイクルポート整備について、利用者の現状を把握し、幅広いエリアでの活用を図ることを事業者と協議するよう意見を述べました。

フェニックス自然動物園再生事業

ゾウ舎の改修設計について、国内では過去にゾウ飼育員の死亡事故も発生していることから、安全性に十分に配慮するよう、また、改修には多額の費用が見込まれるため、費用面も考慮するよう意見を述べました。



市民経済委員会



2件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

農地集約化促進基盤整備事業(県補助)(清武)

貯水槽に水を貯めておくことで、水不足時に応急的に灌水を行えるようにすることですが、天神ダムの水利用のあり方について根本的な問題解決が図られるよう意見を述べました。

まちなか企業立地チャレンジ事業

ベンチャー企業の立地は新たな雇用の場の創出及び移住促進にもつながることから、今後も積極的な事業推進に取り組むよう意見を述べました。



総務財政委員会



9件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

物販施設経営分析事業

総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用した市場調査、経営分析結果及びその結果を踏まえた施設の方向性について適宜議会へ説明するよう意見を述べました。



宮崎市職員の定年等に関する条例等の一部改正

管理監督職勤務上限年齢制(役職定年制)の導入により組織運営に混乱が生じないよう、民間企業等の事例を丁寧に研究し、役職定年制が組織の活性化につながる制度となるよう意見を述べました。

文教民生委員会



3件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

障がい児通所支援事業、障がい福祉サービス事業、私立保育所運営費、認定こども園施設型給付事業、幼稚園施設型給付事業、地域型保育給付事業、介護保険給付費及び地域支援事業費

国の人材確保の事業趣旨を踏まえ、福祉、保育に携わる職員等の処遇が改善されることを目的に達成されるよう取り組まれるように意見を述べました。



児童クラブ運営事業

本市の現場の実情把握等に努めた上で、人材の確保及び育成につながるよう児童クラブに勤務する職員の人員費の積算、給付等に取り組まれるよう意見を述べました。



常任委員会の審査報告

4つの常任委員会は、本会議から付託された議案や請願などについて専門分野ごとに詳しく審査を行っています。9月定例会の審査報告の主なものをまとめました。

決算はどのように審査されているの？



市議会が市の決算をチェック！

令和3年度の決算を審査

令和3年度の決算認定議案が9月定例会に提出され、決算審査を経て、10月臨時会で認定されました。決算審査とは、予算が適正に執行されたか、また、その執行に係る効果について議会が審査を行うもので、翌年度の予算編成につながる重要な役割を担っています。



議会中継WEBサイト内で「決算審査特別委員会委員長報告」をご覧くださいませ⇒

建設企業分科会

資源物集団回収推進事業

資源物の回収を行う登録団体174団体のうち、自治会はずか79団体とのことから、各地域において本事業の推進を図るため、事業を知らない自治会がないよう本事業の丁寧な周知に努めるよう意見を述べました。



危険ブロック塀等対策事業

倒壊の恐れがある危険ブロック塀等について、事故が発生した際の責任が所有者にあることの周知啓発に努める等、危険箇所が早期に解消できるような事業を検討するよう意見を述べました。



総務財政分科会

国民健康保険特別会計

市民の個別の事情等により納入が難しい事案があることは理解できますが、期限内に納付している市民との公平性の観点も考慮しながら、納税相談や滞納処分など、収入未済額の解消に向けた取り組みに注力するとともに、今後も様々な納付方法を活用し、収納率の向上に努めるよう意見を述べました。



選挙啓発事業

各種選挙の投票率が低下傾向にある状況を鑑み、小中学生への主権者教育を含め、新たな啓発活動を検討するなど、より効果的な周知、啓発活動に取り組むよう意見を述べました。



市民経済分科会

シルバー人材センター助成事業

官公庁や企業における定年年齢引き上げにより、60歳以降も働き続ける人が増えることで、今後も宮崎市シルバー人材センターの会員数は減少していくことが予想されることから、これからの社会情勢に合わせた事業構築について検討するよう意見を述べました。



MICE誘致推進事業

MICEの開催により多くの集客が見込め、経済効果も大きいと考えられることから、コロナ禍においても、積極的に事業が実施できるよう努めるよう意見を述べました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が実施できなかったほかの事業についても、可能な限り実施し、地域経済の活性化に資する事業については今後も積極的に推進するよう意見を述べました。

※MICEとはビジネスイベントや国際会議などのこと



文教民生分科会

保育士等確保のための処遇改善補助事業

当局によると、本事業が保育士等の人件費に行き渡ること、就労定着につながっているようですが、今後も見込まれる保育士不足の解消対策として、事業の拡大に努められるよう意見を述べました。



ファミサポ多子・ひとり親世帯等支援事業

対象者や対象者の周りの方など広く市民に情報が届くよう、さらに周知方法について工夫されるよう意見を述べました。



市議会からのお知らせ

次の定例会は

12月定例会
11/28月~
予定

※会期日程は変更になることがあります。正式な日程が決定しましたらホームページにアップします。

議会を傍聴しませんか

市議会の本会議や常任委員会、特別委員会は自由に傍聴できます。傍聴の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用等にご協力ください。



テレビで見る

本会議の様様を宮崎ケーブルテレビ(地上11ch)で放送しています。



インターネットで見る

本会議の様様を録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。



市議会ホームページも、ぜひご活用ください!

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/parliament/>

市議会ホームページでは、議会の最新ニュースや会議録をはじめ、議会に関するさまざまな情報を発信しています。インターネットならではの便利な機能もご用意していますので、「みやざき市議会だより」と併せてご活用ください。

市議会ホームページなら…

- 会議録の検索、閲覧が可能**
平成元年以降の会議録が登録されており、「発言者」や「会議録の種類」、「日付」などで文書を絞り込むことができます。
- ホームページで本会議を中継!**
市議会ホームページで定例会や臨時会の本会議を中継しています。過去の議会の録画映像もご覧いただけます。

Facebookでも情報を発信

公式Facebookでは、一般質問の要旨や常任委員会・特別委員会の活動などをメインに情報を発信しています。

Instagramを開設

より多くの方に情報をお届けするためにInstagramを開設しました。ぜひフォローしてください。

編集後記

9月定例会から、宮崎市議会では議員一人に1台のタブレットを導入しました。慣れない操作にまだ苦戦していますが、環境を考えたペーパーレス化、また、時代の流れについていくにはDX(デジタルトランスフォーメーション)化へとアップデートしていかねばなりません。全国の市議会にタブレットを導入している自治体は51.9%(令和3年末現在)と少なくはないのです。慣れないため、今議会中に急に大きな音が出てしまい、大慌てした場面もありましたが、少しずつ慣れていきたいものです。平均年齢61歳の宮崎市議会ですが、タブレット操作に慣れていけば、膨大な紙の資料から、必要書類を探す時間は短縮でき、会議も効率化でき、市民のための大切な議案検討の時間を更に充実させることができそうです。

広報広聴委員会 編集委員
今田 裕信 太場 祥子 久保田早紀
齊藤 義勝 富永 千香